

集団で水面を利用している鳥

分類：カモ目 カモ科

【コハクチョウ】

阿賀野川を利用する白鳥はオオハクチョウとコハクチョウです。その数は1対10くらいの割合でコハクチョウがたくさんいます。10月下旬から2月末頃まで越後平野にやってきて、夜は横雲橋と安田橋の下流、近くの瓢湖や潟などに1000羽以上でねぐらをとります。昼間はまわりの田んぼへエサをとり家族単位で出かけるため、朝夕は隊列を組んで飛んでいるのがよく見られます。

【カルガモ】

阿賀野川で1年中くらしているのはカルガモです。春になるとアシ原の近くで巣を作り一度に10羽以上の子育てをします。時々ニュースに出る「カモの引っ越し」はカルガモ親子の話です。比較的水がよどんでいる場所によくいます。

【マガモ】

阿賀野川には冬になるとたくさんのカモがやってきます。中でもマガモが一番数多く見られ1万羽以上いることがあります。昼間は安全な広い水面で休み、夜になると周りの田んぼに集団でエサをとりに行きます。

コハクチョウ



やく
約 120cm
くちばしから尾までの長さ

コハクチョウ



黄色い部分
小さい

オオハクチョウ



黄色い部分
大きい

カルガモ



全体的にこい茶色で、
オスもメスも区別がつかない

やく
約 60cm
くちばしから尾までの長さ



くちばしの
先が黄色い

マガモ



メス：全体的に
茶色

やく
約 60cm
くちばしから尾までの長さ

オス：首が鮮やかな
緑色

よく見られる場所

